

問1 明治時代から昭和時代にかけて活躍した歌人で、情熱的な歌風の歌集『みだれ髪』を発表したほか、日露戦争に出征した弟の身を案じて「君死にたまふことなかれ」という詩を雑誌に発表し、当時の社会に大きな影響を与えた人物を選んでください。

(2025年 栃木公立入試 類似)

1. 与謝野晶子 2. 樋口一葉 3. 平塚らいてう 4. 津田梅子

問2 明治時代後半、産業革命の進展にともない、製糸業や紡績業の工場では女性や子供が不衛生な環境で深夜まで働かされるといった深刻な事態が起きました。このような過酷な労働環境を改善し、労働者を保護するために1911年に制定された、日本で最初の法律は何ですか。 (2024年 群馬公立入試 類似)

1. 工場法 2. 治安維持法 3. 独占禁止法 4. 労働基準法

問3 1894年に勃発した日清戦争の講和条約である下関条約において、日本が清から獲得した領土と、条約の規定として正しい組み合わせはどれか。 (2022年 静岡公立入試 類似)

1. 清が朝鮮の独立を認め、日本に台湾、澎湖諸島、遼東半島を割譲する。 2. 清が朝鮮の領有権を主張し、日本に南樺太と千島列島を譲渡する。 3. ロシアが清の宗主権を否定し、日本に山東半島と遼東半島を譲渡する。 4. 日本が清国内での治外法権を認め、清に琉球諸島の帰属を認める。

問4 明治時代後半の日本の産業の変化について、官営八幡製鉄所の役割に触れた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)

1. 鉄鋼を国内で生産できるようになったことで、造船業や鉄道網などの重工業が発展する土台となった。 2. 渋沢栄一などの民間資本によって設立され、政府に頼らない自由な経済活動のモデルとなった。 3. 清から輸入した安価な鉄鋼を加工して欧米へ輸出することで、貿易収支を大幅に改善させた。 4. 器械製糸の技術を全国に広めるための模範工場として、女性労働者の雇用を創出した。

問5 伊藤博文が1882年からヨーロッパへ渡り、ドイツ（プロイセン）などの憲法を調査した主な目的として、最も適切な背景を説明したものを選びなさい。 (2021年 山口公立入試 類似)

1. 君主権の強い憲法を研究することで、天皇を中心とした安定した近代国家の仕組みを作るため 2. 自由民権運動の要求に全面的に応え、国民の権利を最優先した主的な憲法を作るため 3. 不平等条約の改正を有利に進めるため、アメリカの合衆国憲法をそのまま導入するため 4. 長州藩などの藩閥政治を維持し、内閣制度の導入を阻止するための理論武装をするため

問6 明治時代初期、西洋の新しい思想を紹介し、人々の意識を変えようとする文明開化の動きが起きました。この時期に『天は人の上に人を造らず人の下に人を造らず』という言葉を掲げ、個人の独立と実学の重要性を説いた人物と、その代表的な著書の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 大阪公立入試 類似)

1. 福澤諭吉 — 学問のすゝめ 2. 中江兆民 — 民約訳解 3. 夏目漱石 — 吾輩は猫である 4. 小林多喜二 — 蟹工船

問7 1904年に日露戦争が勃発した後の明治時代の歴史的経緯において、日本が戦費の不足や兵力の消耗などの理由から戦争の継続を困難と判断し、講和のための平和会議の仲介を依頼した国はどこですか。 (2020年 静岡公立入試 類似)

1. アメリカ合衆国 2. イギリス 3. ドイツ 4. フランス

問8 明治時代、日本は欧米列強と対等な関係を築くために条約改正に尽力しました。1886年に起きた、イギリス船の沈没と日本人乗客の犠牲をめぐる裁判の不当性が問題となった事件の名称として正しいものはどれですか。 (2026年 鹿児島公立入試 類似)

1. ノルマントン号事件 2. 生麦事件 3. フェートン号事件 4. 下関事件

問9 三国干渉が起こった背景と、その後の日本国内の動向についての説明として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 奈良公立入試 類似)

1. ロシアは自国の南下政策を有利に進めるため日本に圧力をかけた。日本国内ではこの屈辱を忘れぬよう「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗心を強めた。 2. ドイツが清の領土保全を強く訴えたことで国際世論が日本に厳しくなった。日本はこれを受け入れ、ロシアとの協調外交を最優先するようになった。 3. フランスが日本と清の仲裁を行い、遼東半島の返還と引き換えに多額の追加賠償金を得るよう助言した。これにより日本の財政は急速に潤った。 4. アメリカが東アジアの門戸開放を求めて3カ国を主導した。日本はイギリスの軍事支援を期待して要求を拒否し、即座にロシアとの戦争を開始した。

答え合わせ・解説

| | | |
|----|---|---|
| 問1 | 答え 1 与謝野晶子 | 歌集『みだれ髪』は、伝統的な形式にとらわれない情熱的な感情を表現した作品で、明治期のロマン主義文学を代表する金字塔です。また、日露戦争中に発表された「君死にたまふことなかれ」は、旅順の包囲戦に加わっていた弟に向けられたもので、国家主義的な空気が強かった当時において、個人の感情や命の尊さを真っ向から肯定した詩として知られています。樋口一葉は『たけくらべ』などの小説で知られ、平塚らいてうは青踏社を結成した女性解放運動の指導者です。 |
| 問2 | 答え 1 工場法 | 産業革命が進むにつれて、特に軽工業の分野で年少者や女性労働者による長時間労働が大きな社会問題となりました。これを受けて、国家として労働力を維持し、社会不安を解消する目的で制定されたのが工場法です。なお、戦後の1947年には、より包括的な「労働基準法」が制定されています。 |
| 問3 | 答え 1 清が朝鮮の独立を認め、日本に台湾、澎湖諸島、遼東半島を割譲する。 | 日清戦争に勝利した日本は、山口県の下関で伊藤博文を全権として講和会議を行いました。下関条約では、清に朝鮮の独立を認めさせたほか、多額の賠償金と台湾・澎湖諸島・遼東半島の割譲を獲得しました。これは日本の帝国主義的な進出が本格化するきっかけとなりました。 |
| 問4 | 答え 1 鉄鋼を国内で生産できるようになったことで、造船業や鉄道網などの重工業が発展する土台となった。 | 明治維新以降、日本の主要な輸出製品は生糸などの軽工業製品でしたが、日清戦争後の八幡製鉄所の設立により、近代化に不可欠な鉄鋼の自給が可能になりました。これが軍艦を建造する造船業や、全国に広がる鉄道網の整備を支え、日本が重工業化へと舵を切る大きな要因となりました。なお、器械製糸の模範工場としての役割を果たしたのは、明治時代初期に設立された富岡製糸場です。 |
| 問5 | 答え 1 君主権の強い憲法を研究することで、天皇を中心とした安定した近代国家の仕組みを作るため | 当時の日本は自由民権運動の高まりにより、憲法制定や国会開設が強く求められていました。伊藤博文は、急速な民主化による混乱を避けつつ、強力な統治機構を築くために、君主権が強く制限されているイギリス流ではなく、君主の権限が強いプロイセン（ドイツ）の憲法を手本にすることを選択しました。 |
| 問6 | 答え 1 福澤諭吉 — 学問のすゝめ | 文明開化の時期、慶應義塾の創設者でもある思想家が、封建的な身分制度を否定し、新しい時代の平等な人間関係と、個人の自立のための教育の必要性を訴えました。この著書は当時の国民に広く読み継がれ、近代日本の精神的支柱となりました。 |
| 問7 | 答え 1 アメリカ合衆国 | 日露戦争において、日本は日本海海戦などで勝利を収めていたものの、長引く戦争によって経済的・軍事的な余力が限界に達していました。そこで日本政府は、当時中立の立場にあり、東アジアへの関心を強めていたアメリカ合衆国のセオドア・ルーズベルト大統領に、戦争を終わらせるための仲介を依頼しました。 |
| 問8 | 答え 1 ノルマントン号事件 | 1886年に起きたのはノルマントン号事件です。生麦事件（1862年）や下関事件（1863年）は幕末に起きた外国との紛争であり、不平等条約の改正を求める世論が最高潮に達した明治中期のノルマントン号事件とは時期や背景が異なります。この事件は、青木周蔵や陸奥宗光らによるその後の条約改正交渉に大きな影響を与えました。 |
| 問9 | 答え 1 ロシアは自国の南下政策を有利に進めるため日本に圧力をかけた。日本国内ではこの屈辱を忘れぬよう「臥薪嘗胆」を合言葉にロシアへの対抗心を強めた。 | ロシアは不凍港を求めて南下政策を推進しており、遼東半島を日本が領有することを強く警戒してドイツ・フランスを誘い干渉を行いました。当時の日本には列強3カ国を相手に戦う力はなかったため要求を飲みましたが、国民の間ではロシアに対する強い反感が生じ、「臥薪嘗胆（がしんしょうたん）」をスローガンに軍備拡張が進められ、のちの日露戦争へとつながる要因となりました。 |